

名古屋城

松永亮逸

金の鯨で有名な名古屋城は徳川家康がその子直義のために、北國四國の大名に手傳はせて、今から三百二十三年前に築いた素晴らしい城です。敷地總坪数は二萬二千三百八十三坪、本丸だけでも一萬一千二百八十九坪です、この立派なお城は慶長十五年正月九日に普請はじめ(起工式)をして、八月には全部出来上つてしまひました。

大石を熱田の濱から運搬するに清正が赤い毛でこれを包んで、青い綱をつけ美しい御小姓に、片鎌の鎧を持たせ石の上に立たせて面白く歌を唄はせ、路の兩側の老若男女にお酒やお菓子をはら散いて「さあ!誰れでもこの綱を握つて牽いた!牽いた」と呼ぶとわれも、と綱を握る、その數約七千人とその當日の記録にのつてゐます。

普通名古屋城と云はれてゐるのは天守閣のこと、七尺間で南北十七間三尺二寸、東西十五間三尺二寸、

高さ六間六尺あります。上につてゐる金の鯨は、當時小判一萬七千九百七十五兩をつぶして鑄つたもので、高さ八尺三寸廻り六尺五寸、鱗片面百十餘枚、蛇腹十六枚、耳が一尺七寸、眉一尺七寸に六寸、眼五寸八分に八寸、齒上(八枚)二寸五分に四寸(下八枚)三寸に五寸五分です、南鯨と北鯨とはほんの少しですが大きさが違ひます。

天守閣の中には黄金水と呼ぶ井戸、又は鉛の樽(これは重さ千二百二十四貫あつていざ戦争と云ふ時に二十二萬餘の銃丸を製造することが出来るさうです)等があります。

この外本丸には當時有名な繪師土佐光信、狩野永徳探幽、興意等の名畫が驚く程たくさんあります、實に電光石火の早業です使用した人夫も非常な數に上り全部で五百五十八萬八千五百名、一日に最高廿萬人を使用し、普請場はまるで戰場のやうであつたと云ひます、この人夫の賃金が一、二日、永樂錢七文(今の七厘)でした、ほんとうにうその様な話です。

常磐六藝

雪の朝

黒井春美

雪の降る朝
起き出で、
見れば庭先
眞白に
枯木()に
白い花
咲いたよ花が
一面に
木梢に鳥が
鳴いて居る
背中に白い
着物着て
町庭野山
いつばいに
きれいな白い
銀世界、

國産セイコー腕時計

抽籤附特賣!

クロム側腕時計八圓半ヨリ
金側全十七圓半ヨリ

一等 16形プラチナ側腕時計 百十圓
二等 16形十八金側腕時計 六十二圓
三等 OS製扇風機 同 二十六圓
四等 OS月光裏鏡目鏡同五圓
五等 OS硝子置足付同二圓

特賣期間 六年五月卅一日迄
其の他貴金屬、時計新値下品澤山
修繕値下 勉強を生命と致します

鐵道省御用 金光堂時計店
隣に貸し家あります 平五 電話一九五

平陽女學校入學案内

文部大臣認可
募集人員

本科	二ヶ年卒業	五十名
師範科	二ヶ年卒業	五十名
技藝高等科	二ヶ年卒業	五十名
全速成科	一ヶ年卒業	三十名
全專攻科	一ヶ年卒業	二十名

右各科共入學ヲ許シマス希望者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月末日迄ニ本校宛提出シテ下サイ入學願書ハ本校宛申越下サレバ差上マス
福島縣平町

平陽女學校
電話四四五番

木村外科醫院

花柳病専門
本院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

郡下タクシー界の

我が社は今回川崎社長の渡満紀念として石城郡下タクシー界の人氣投票を募集致します、今や交通機關の一つとして自動車は將に時代の寵兒たる觀があり従つてこの企てが一般愛讀者の御賛助を得ること、信じます、旁々これが交通整理並びに事故防止の一端ともなれば我が社の欣快とする所であり、何卒奮つて御投票あらんことを願ひます。

集募賞懸票投氣人

一、投票用紙
(イ)官製葉書若しくは本紙掲載の投票用紙
(ロ)投票者の住所姓名は必ず明記のこと
(ハ)一葉一商會のこと

二、切開
昭和六年四月五日
平町長橋町常磐毎日新聞社懸賞係
毎日の本紙上に發表

三、開票
昭和六年四月八日本紙上に發表

四、賞品
(イ)當選したるタクシー商會に對しては左の如く(各一商會)
一等賞 銀カップ一對 造花輪一個
二等賞 銀カップ一個
三等賞 賞狀 銀カップ一個
(ロ)一等に當選したるタクシー商會へ投票したる者のうちから本社にて抽籤の上左の賞品を呈す
一等賞 (一名) 美術置時計一個
二等賞 (二名) 置時計 一本宛
三等賞 (五名) 萬年筆 一本宛
四等賞 (十名) 鉛筆 二打宛
五等賞 (二十名) 用箋 一冊宛

七、審査及抽籤 阿部政右工門氏 門傳清吾氏
佐々木龍若氏 坂本々社員

常磐毎日新聞社

紙用票投

名姓所住	名會商

常磐毎日新聞社

開票

郡下タクシ界の

人氣投票

(三月十八日正午現在)

六一	磐城	タクシ	(平)
四七	昭和	タクシ	(平)
二八	三九	タクシ	(平)
二七	三井	タクシ	(平)
二三	旭	タクシ	(四倉)
一〇	海氣	タクシ	(四倉)
八	尼子	タクシ	(平)
八	野崎	タクシ	(平)
六	菊地	タクシ	(平)
三	植田	タクシ	(植田)
三	すまや	タクシ	(小名)
一	鈴木	タクシ	(湯本)

郡下タクシ界に

断然突風的人氣

既に前哨戦開始

我が社の劃期的計畫に 各方面の話題あつまる

我が社が今回川崎社長の渡満を記念する爲めスピード時代に最もふさわしい石城郡下タクシ界人氣投票の懸賞募集は別面所報の如くであるが俄然郡下のタクシ界に非常なセンセーションを巻き起し各方面に於ける話題的となつたがその結果第二日である今十八日正午までには百十五票の投票あり最高六十一票に達したが本社懸賞係はこれが投

卒業生

平産婆看護婦学校
護婦學校
平南町半産婆看護婦學校
二十四回卒業式は明十九日午後二時から舉行するが本年度卒業生左の如し
(イロハ順)
(産婆科)

猪狩トヨ 渡邊フサ 渡邊淑子 加瀬静子 神野ハル 柏原トキ 吉澤なを 佐藤アサ 宮川トミヨ 永山マツヨ 小野寺ミドリ 兒玉フサ 遠藤ハツヨ 遠藤イチ 坂本ハルヨ 佐藤ユイ 佐藤ヨシ 木田千枝 鈴木キエ
(看護科)
伊藤テル 猪狩トヨ 猪狩ヒサ 渡邊フサ 渡邊ヨシ子 神野はる 加瀬静子 柏原トキ 小林ス

施肥期を控へて

郡下各農會起つ

肥料購入低利資金を 融通すべしとの大運動

米商價安に農村金融は全く硬化し施肥期をひかへ地方農村は肥料資金に事欠くの狀態なので石城郡下各農會では肥料購入低利資金を融通すべしと大運動を起してゐるが縣購買組合聯合會ではこの情況に鑑み優良なる肥料を低廉なる値段を以て所屬組合に供給し既に五千噸をかぞへ播種期迄には最初の豫定である六千噸をはるかに突破するであらうと觀られてゐるこれを前年度の二千四百四十九噸に比較すれば約三倍に當つてゐる而し

本年卒業生

二十日學式

平町佐賢學舎第十八回卒業式は来る二十日午前十時から同校に於いて行はれるが本年度の卒業生は左の如し
(五十音順)
(本科)

- 鶴沼繁雄 大和田守 岡部尚 草野高保 國井克昌 叶多ミヨ 木田ツヤ 小松壽 佐藤美也司 鈴木進一 中野五郎 永山五郎 小松セキ子 關本トヨ子 箱崎三弘 蛭田

冬の競技

運動でありますし、冬は厚くなつてゐるから滑つてもいい、スキーはノルウェーの子供は下駄で走るやうにスキーで快く遊んでゐます。日本でもトといふ簡便なものになりまして、冬のスキーで盛んなので、近頃はスキーが段々盛んになりまして、北の雪の降る所でもスキーが盛んになり、信州松原球とスキーとスキーで世界の本舞臺にのつてゐる。スキーは北歐の諸國トは日本でも昔からありまして、特にスエーデンやノルウェーとポーランドに盛んで、諏訪湖では狐が氷結と笑はれました、きたイギリス古来のドが強くドイツも盛んした湖面を渡れば氷

平町人事

出生

△一丁目三三 岡島源市氏長女ユキ子
△紺屋町三七 浩松五男草野浩五(三三)

死亡

△一丁目三三 岡島ユキ子(一ツ)
△紺屋町三七 浩松五男草野浩五(三三)
△白銀町八 美智雄長女美都(一ツ)

滿鮮旅信

川崎小鳥

(九)

滿州の汽車は廣軌鐵道です。すから車内も廣く、乗心地非常によろし、到底内地の汽車の遠く及ぶ處にあらず。機關車の上にはベルが備へつけてありまして、列車轟進に當り高く低く鳴り響く……。車窓遠く起伏する禿山の巖に淡雪光り滿洲の春は未だ寒い。

(十)

鞍山の製鐵所も、撫順の炭礦も詳細に、見せて貰ひました。撫順の露天掘説明に當つた人が偶然にも高久醫師の親戚の人、殊に茨城縣出身として、時の過ぐるを忘れて語り合ひました。鞍山や撫順を見るにつけ全く滿州は日本の富源であるとの感が深い、而し支那人の勞銀が安い爲めに、日本の勞力は少しも輸入されて居りません。

(十一)

言語不通のハルピン行は蓋し此度の旅行の興味の焦点でありました、それでも迷兒にならず往復の出來たのは見付けもの、沖、横川兩志士の碑に參詣し同地の社會主事と共に氷結した松花江にソリを走らせました、不夜の都の歡樂境に旅人の總べてが見落さぬ裸ダンスを見なかつた事は寧ろ私の誇りとする處です。

兒童の就職口を 東京方面に開拓

小僧は要りませんか

平職業紹介所員が大童

春三月——卒業と共に小ざき乍らも就職を志して平職業紹介所に斡旋方を申込んだ兒童が郡下に男百五十二名、女二十名、計百七十二名でこれら兒童のうち女子は、大体において九十パーセント位の就職率で好成绩を示すが一方男の方は二月末現在で僅かに三四名足らずの求人申込であつた。め紹介所では三月に入る早々から各方面に對する求人開拓を試みたが成績は思はしく行かず、殊に例年大口

平各小學校 證書授與式

二十四日

石城郡平町各小學校本年度卒業證書授與式並に卒業者數は左の通りである
△第一小學校は卒業式廿

手附金を拂つた儘 ミシン機械を詐欺

月賦で買ったのを 更に轉賣して發露

石城郡小名濱町上横町洗濯業森登(三)は一月頃平町一丁目シンガーミシン販賣店方より月賦購買の理由でミシン一臺價格百九十五圓を購入し手附金五圓を支拂つたがその後幾回請求しても言を左右にして支拂はぬのみか該ミシンを他に轉賣してしまつたので前記販賣店主石川平三郎より詐欺として今十八日平署へ告訴を提起した

道路を改修

小川郷高秋間

石城郡小川郷火防組合では同村郷前より大字高萩に通ずる道路が破損して人畜の交通に支障をまして居る爲め十六日組合長田久七郎氏は組員二十余名出動して改修工事を行った爲め十八日竣工したが同方部民から非常に喜ばれて居る

調査委員會

二十日一齊に

石城郡下における昭和五年四月以降の新築家屋に對する家屋賃賃價格調査をなすのは左記町村であるが第一次委員會を來る二十日午前九時から各役場内に召集協議する
植田△平△豊間△小名濱△湯本△内郷

炭車が獨りで動き 遊戯中の子供即死

巻上げ線に巻込まれ 無残にも頭部を紛碎

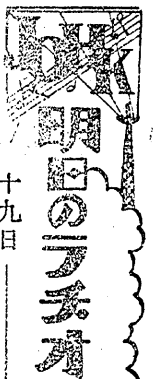
石城郡内郷村綴ノ町内長野縣小縣郡豊里村生れ採炭夫昌一四女小山ミツ(七)は十六日正午頃磐城炭礦高坂坑捲揚場にて遊戯中炭車に片足をのせてゐた處で突然動き出したのでエントレス線に巻き込まれ頭部を紛碎して無残な即死を遂げた

下小川學藝會

石城郡下小川村小學校では十九日午前十時より同校小學校に於て學藝會を開催すると

磐銀整理委員 答申を延期

平區裁判所から任命した平町磐城銀行の整理委員酒井松尾兩辯護士は十六日まで銀行から申請にかゝる和議法適用問題に對する意見



今晩は北より風曇り 明日は北よりの風天氣次第に悪くなる

- 前七、〇〇 ラデオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報 經濟市況
- 前九、一〇 料理談話「鱈牛券の八幡巻き」佐藤三
- 前九、三〇 經濟市況
- 前一〇、三〇 佛教講座「大日經第七卷」第二講 神林隆淨
- 前一一、四〇 經濟市況
- 正午 時報
- 後〇、〇五 吹奏樂 一行進曲「名譽の導く處」三神
- 秘の佳人 三國舞曲「觀喜の夕」四組曲「アルルの女」田代三郎
- 舞曲六行進曲「太平洋」海軍音樂隊指揮内藤清吾
- 後〇、四〇 全國ニュース
- 氣象通報 告知事項
- 後一、〇〇 經濟市況
- 後二、〇〇 家庭大學講座「日本演劇史歌劇伎劇」第一
- 八講 河竹繁俊
- 後二、三〇 經濟市況
- 後三、〇〇 氣象通報
- 後三、五〇 經濟市況
- 後四、一〇 全國ニュース
- 後四、一〇 中繼「京郷大角力七日目」京都角力場より中繼
- 後五、三〇 經濟市況
- 後五、四五 今晚の番組豫告
- 後六、〇〇 (子供の時間)漫遊劇「團子串助漫遊記」漫遊劇の人形劇場演出 放送指揮宮尾しげる
- 後六、三〇 英語講座「中等科第四講の五」出井義行
- 後七、〇〇 全國ニュース
- 氣象通報 告知事項 番組
- 後七、二五 浪花節「乃木將軍鹽原温泉の巻」京山若丸
- 後八、〇〇 長唄「鶴龜」芳村伊四郎他大勢
- 後八、三五 ラデオドラマ「古今未會有物語」上山草人 渡邊篤 結城一郎 松井潤子他大勢演出 揮城戸四郎
- 後九、三〇 ニュース 日本某院東西七手合戰第五
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組 豫告 告知事項

白熱的斷然大安賣!!!

忽ち評判を生む…… 是非一度御來店を乞ふ

- 男女學生カバン 一等品 金二十五錢
- 男女學生手提 一等品 金五十錢
- 牛革製ラントセル 一等品 金二十圓廿錢
- 日本一のカテイカメラ 附屬一揃 金五十錢
- 同 特等品 金九十錢
- 六吋ゴムマリ 金二十五錢
- 特ニ學生カバン類ハ製造元ヨリ直接大量ニ仕入シ爲メ市價ヨリ約三割安ニ御願申上ラレマス
- 其他大小玩具諸類何品ニヨラズ此際利益度外ノ大安賣

平町一丁目
森下商店
商號(豆屋)

貸切は!

親しみあるサービス
を以つて知られたる
尼子タクシーへ
電話六四〇番
澤正路 主任

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
病科 門專 腸胃病 腸胃病
院醫科 村松 電話七〇一

